

# 学校訪問

18

心も体も元気に輝く子どもたち

## 有漢東小学校

有漢東小学校（有漢町上有漢・松田健治校長）は、全校児童43人の小規模校。「生きる力にあふれ、明日に輝く東っ子」を学校教育目標に掲げ、学校と保護者、地域で協力し合い活動を行っています。

表現力を高めるために、取り組んでいるのが「暗唱活動」と「季節を詠む活動」。

暗唱活動は、毎月100文字程度の暗唱文を決め、担任の先生や校長先生の前で一人ずつ発表するもので、集中力、記憶力、発表力を育てます。「覚えるのは大変だけど、暗唱活動を始めて、記憶力が向上したように思います。これからも続けたいです」と6年生の続田真実さん。

季節を詠む活動は、児童の感性で季節を感じ、五・七調の言葉で表現するもの。季節の出来

冬みんを  
こたつで一回してみたい  
三年 荒田悠花

事や自然に目を向け、思いを上手に表現することができています。

このほか、「げんき委員会」（学校保健委員会）を毎学期に1回開催。親子で生活を振り返るワークショップなどを取り入れていきます。

望ましい生活リズムの定着に向け、「かがやく子週間」を実施。子どもたちの生活課題から目標項目を決め、毎月第2週にカードで確認します。パーフェクトが達成できると「きらりん賞」として称賛し、子どもたちの励みになっています。親子で一緒



第1回げんき委員会の様子。みんなで生活課題を話し合います



7月2日、桃の袋掛けを行いました

に取り組むことも多く、家庭と学校が連携して子どもたちの元気な生活を支援する「かがやく子週間」になっています。

地域との交流も盛んです。毎年、特別養護老人ホーム有漢荘に、空き缶を集めたお金で購入した車いすを寄贈しています。

農家の皆さんの指導で、桃やサツマイモの栽培、落ち葉を集めての堆肥作りを体験し、地元産物の学習も行いました。4年生の島田祥幹くんは「農家の人の桃作りに懸ける思いを知り、ほくも大切に育てました。夏においしい桃がとれました」とうれしそう。

地域とのふれあいと協力で、心も体も元気に輝く「東っ子」が育っています。

## 栄光をたたえます

文化やスポーツ活動の全国大会出場、それに準じる成績を収めた人・団体を紹介します。

### ◆西村 毅さん

（高梁城南高等学校教諭）

第60回岡山県勤労者美術展・写真の部で厚生労働大臣賞を受賞。

「最後の開催となった勤労者美術展で受賞できうれし。この賞を励みに今後も頑張っていきたい」



## 「栄光をたたえます」に情報をお寄せください

市内に在住、または市内で活動し、右記に該当する人・団体の情報があればお知らせください。

■問い合わせ・連絡先  
企画課公聴広報係  
(☎0210)



前列中央が会長の江草正光さん

## 郷土の歴史を後世に

## 平川の歴史をかたる会(備中町平川)

備中町平川の住民有志でつくる「平川の歴史をかたる会」は、同地区に遺構が残る「紫城趾」の保存、伝承に取り組んでいます。

建武3年（1336）当時の穴門郷の領家職として、近江国から移封した平川掃部介源高親が紫城を築き、領主として本郷を支配し、この一帯を平川村と称しました。その後、慶長5年（1600）の関ヶ原の合戦を機に廃城となるまでの間、紫城を中心にこの地域一帯で激しい戦闘が繰り広げられたと言われています。

昨年8月、「紫城は平川の歴史の原点。この地域には多くの歴史的事実があることから、一人でも多くの人に平川の歴史を知ってもらい、郷土振興に役立てよう」と地元と呼びかけた江草正光さん。高前政治さん、西道統全さん、丹正隆夫さん、泉義武さん、平木宗夫さん、中平博文さん



案内板の設置作業（12月1日）

ん、坂本昌雄さんが賛同し8人で同会が発足しました。3年計画で歴史調査を行っており、昨年は紫城趾および登山道の整備などを実施。2年目となる今年は、遺構のそばと町中に2箇所案内板を設置しました。「過疎が進む中、私たちが後世に伝えなければという強い思いで取り組んでいます」と話すのは平木さん。

同会は活動の一環として、地元の平川小学校でも紫城の歴史を教えています。計画最終年度となる来年は、平川の歴史をつづった冊子を作ります予定です。